

## システムの名称：永和大型パネル工法

## 第1章 システムの基本的な考え方

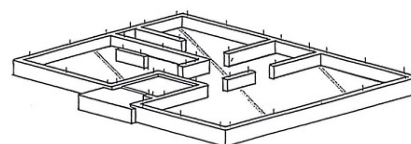
近年、在来工法住宅の人気は依然として高いが、熟年の大工不足、性能及び品質のばらつき、工期が長いなどの問題をかかえているのが現状である。そこで、当社はこれらの問題に対し工法による合理化を考え問題を解決することが目的であり、狙いである。

床・壁をパネル化、または単純化することにより合理性を高め在来工法の良さを残しつつ「品質の安定」「工期短縮」「コスト削減」を図り施主のニーズに合った住宅を供給することを目指している。

## 第2章 システムの概要

## (1) 基礎工事

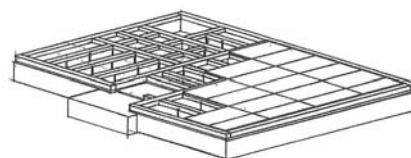
- ・鉄筋コンクリート造のベタ基礎を標準とする。
- ・床下は基礎パッキンにて換気する。



基礎

## (2) 1階床組施工

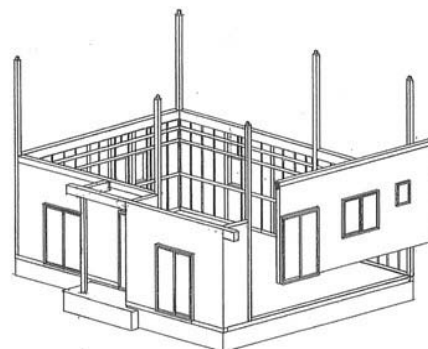
- ・土台 120×120
- ・大引 105×105
- ・下地板 構造用合板 (厚 24)
- ・床束 鋼製束
  - ① 鋼製束・土台・大引の順に取付け。
  - ② 下地板を1階床全体に取付け。※剛床のため火打梁を省略し合理化する。  
※鋼製束のため、根がらみ貫を省略し合理化する。



1階床組

## (3) 1階壁パネル施工

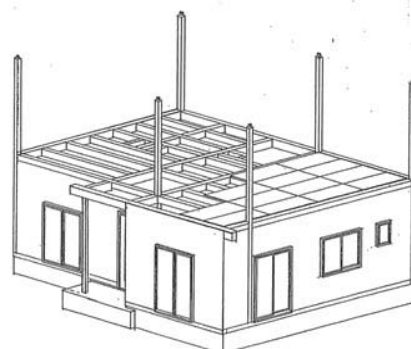
- ① 通し柱を土台に緊結する。
- ② 通し柱間に大型パネル (管柱・間柱・貫・筋違・断熱材を一体化したパネル) を取付け。



1階壁パネル

## (4) 2階床組み施工

- ・2階床梁 120×270
- ・下地材 構造用合板 (厚 24)
  - ① 床梁 1m間隔にて施工。
  - ② 下地板を2階床全体に取付け。※ 梁成の統一をし、合理化する。  
※ 剛床のため、火打梁を省略し合理化する。



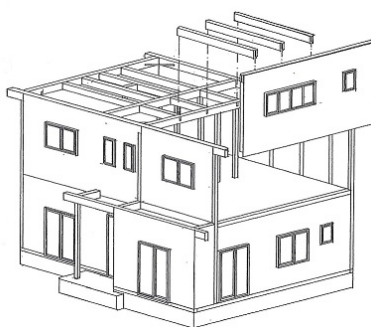
2階床組

## (5) 2階壁パネル、小屋梁施工

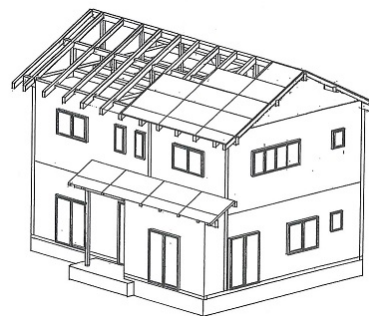
- ① 通し柱間に大型パネル (管柱・間柱・貫・アルミサッシ・断熱材を一体化したパネル) を取り付ける。
  - ・小屋梁 120×270
- ② 2階壁パネル施工後に小屋梁取付け。

#### (6) 屋根組施工

- ・ 登り梁 120×180 @1000
- ・ 野地板 構造用合板 (厚 24)
- ① 登り梁受け母屋の上に登り梁を1m間隔にて架ける
- ② 野地板・外壁パネルを取付けて完成



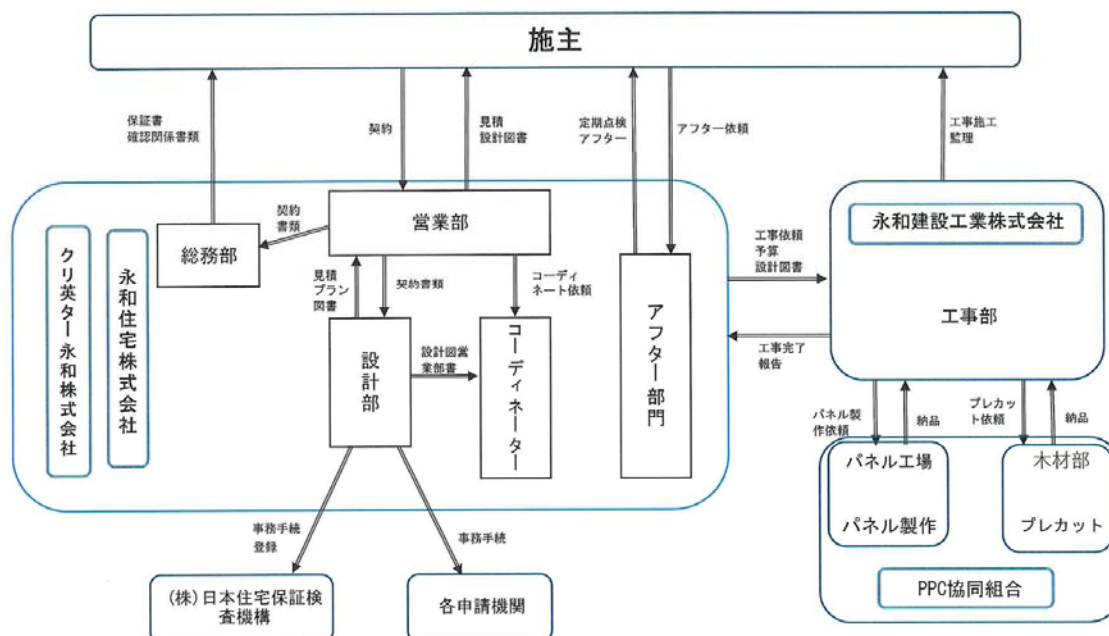
2階壁パネル・小屋梁



屋根組

### 第3章 供給体制について

- ・ 営業、設計、工事及び維持管理する対応は、一貫して自社グループが行う。
- ・ クリ英ター永和(株)が、永和住宅(株)永和建設工業(株)に対し、定期的に技術指導・勉強会を行う。
- ・ 永和住宅(株)、永和建設工業(株)は、定期的の実績報告をクリ英ター永和(株)に行うものとする。



### 第4章 維持管理について

#### 4. 1 維持管理補修サービス等

住設機器・建具・床・屋根については、3ヶ月目に管理課が保守点検を実施する。

住宅全般に関して、1年目、5年目、10年目にアフター部門が保守点検を実施する。以降、20年目、30年目、35年目に施主の要望により、アフター部門が保守点検を実施する。また、修繕計画に基づき、保守によって維持できなくなった部材や機器について修繕を行う。

#### 4. 2 保全計画書

保全計画書は次の項目から構成されたものを施主に渡す体制としている。

- ①建物概要
- ②構造材に使用した樹種
- ③防水・防湿・換気性能を確保するために使用する材料
- ④経過年数毎（1年目、5年目、10年目、20年目、30年目、35年目）に各部位の保全項目を明示

#### 4. 3 その他

住宅瑕疵担保履行法における資力確保の措置として、(株)日本住宅保証検査機構の住宅瑕疵担保責任保険を活用する。